

缶還る (かながえる)

企画 豊島区

製作 毎日映画社

加ディレクター：真田 健三

演出：奥山 清

撮影：佐々木 博司

選曲：田中 正

上映時間 10分

製作年月 平成5年2月



[製作意図]

『便利』が当たり前になってしまっている現代社会。その一方で多くの人が、環境問題に関心を持ちはじめ、リサイクルの大切を理解している。ところが日常生活の中でいざ実行しようとなると、なかなか腰が上がらないというのが実情である。

この作品では、日常生活に欠かせぬ便利なモノの象徴的存在であるアルミ缶のリサイクルの流れを中心に追いながら、区民が実践しているリサイクル活動を織り交ぜ、「リサイクルする日常生活」の楽しさを描く。

[作品内容]

家庭で使われた飲料用アルミ缶が、区の施設に設置されている空き缶回収機『くうかん鳥（愛称）』や、毎月第4火曜日に区立小中学校で実施している学校空き缶デーなど、区の回収事業によって再生工場へ運ばれ、溶解・圧延という工程を経て新しい缶に生まれ変わり、再び手軽で安全なアルミ缶として家庭に戻ってくるというリサイクルの流れを中心に追う。一方、空き缶の流れの合間には、牛乳パックがお金がわりになるユニークな児童館でのリサイクル市や、区民による区民のためのフリーマーケット、牛乳パックを利用した椅子作りや、チラシ広告、古着などを利用した様々なリフォームを研究している主婦グループの活動ぶりをテンポよく紹介する。